

素材生産動向（概要） — 令和8年4月見通し —

令和8年4月17日
北海道森林管理局
（担当：資源活用第一課）

調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する（総合）振興局
全道	575	203	131	65%	
札幌地区	108	54	45	83%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	130	45	28	62%	上川、留萌、宗谷
北見地区	84	32	19	59%	オホーツク
帯広地区	162	41	12	29%	十勝、釧路、根室
函館地区	91	31	27	87%	渡島、檜山、後志

（注）事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業体のうち、素材生産事業を実施している者。
調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者を除いた数。

【4月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

- 「1.素材生産量」では、3月実績の132.9千m³と比べ、4月見通しは4.6千m³減の128.3千m³となっています。前月実績と比較すると、旭川地区、帯広地区、函館地区で減の見通しとなっています。
- 「2.素材生産量の増減」の比率では「増える」が30%、「変わらない」が36%、「減る」が34%となっています。
- 「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が12%、「並み」が73%、「不調」が15%で、DIはマイナスの値を示しています。樹材種別に見ると一般材、原料材ともに「並み」の見通しとなっています。
- 「4.素材生産動向の事由」は「通常の変動」以外では、減の事由としては、特に「労働力不足」、次に「天候不良」が多くなっています。

1. 素材生産量

（単位：千m³）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	[161.6]	128.3	-4.6	[41.9]	51.3	12.8	[25.3]	16.9	-1.9	[42.4]	28.0	0.7	[31.8]	14.2	-6.6	[20.2]	17.9	-9.6
	132.9			38.5			18.8			27.3			20.8			27.5		

（注）前月数量の、上段【 】書きは前月見通し、下段は調査回答のあった事業体の実績を記載。

2. 素材生産量の増減

（単位：%）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増える	32	30	-2	46	40	-6	27	25	-2	36	32	-4	23	8	-15	28	26	-2
変わらない	33	36	3	31	33	2	50	36	-14	16	36	20	18	34	16	38	44	6
減る	35	34	-1	23	27	4	23	39	16	48	32	-16	59	58	-1	34	30	-4

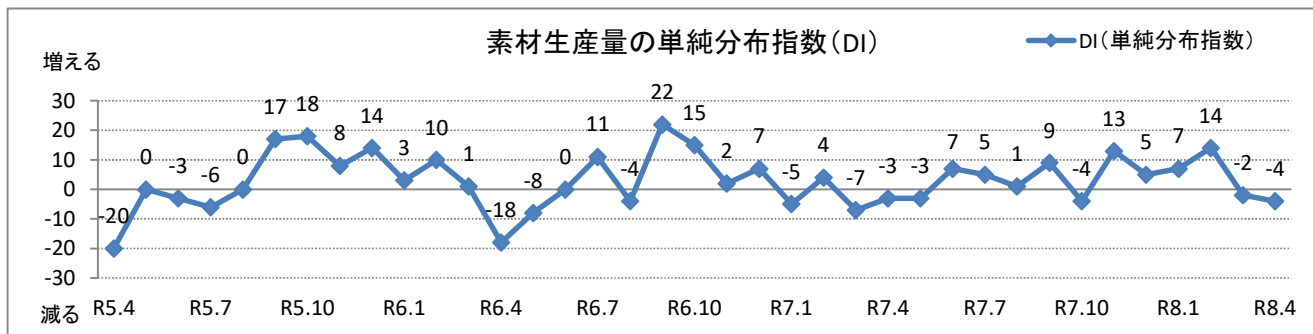
4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性の向上	通常の変動	その他		
数量の増	7	0	1	3	45	0		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不良	通常の変動	その他
数量の減	2	6	16	5	2	10	36	0

(注) 該当するものについて複数回答

(参考)



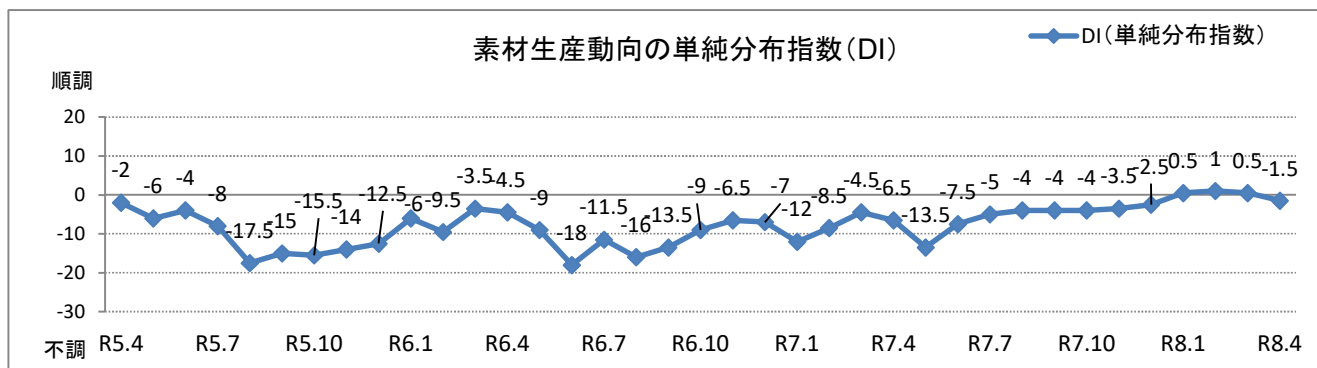
※「素材生産量の単純分布指数(DI)」とはアンケート調査の回答においてプラス(増える)見通しとマイナス(減る)見通しの事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

令和8年4月

区分	有効回答数	構成百分率
増える	39	30%
変わらない	48	36%
減る	44	34%
合計	131	100%

素材生産量の単純分布指数(DI)
= 30% - 34%

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数



※「素材生産動向の単純分布指数(DI)」とはアンケート調査の回答においてプラス(極めて順調、やや順調)の選択肢とマイナス(やや不調、極めて不調)の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

令和8年4月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	1	1%
やや順調	11	11%
並み	74	73%
やや不調	14	14%
極めて不調	1	1%
合計	101	100%

素材生産動向の単純分布指数(DI)
= 1% + $\frac{11\%}{2}$ - ($\frac{14\%}{2}$ + 1%)

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

【国有林からのお知らせ】

【令和8年3月期販売結果及び令和8年4月期販売について】

○令和7年度（立木の部）3月期立木販売（公売）結果と4月期立木販売（公売）は該当ありません。

○令和8年度 素材委託販売日程表（全地区年14回開催）

	素材委託販売（山土場活用）					銘木市
	札幌	旭川	北見	帯広	函館	旭川
4月	21(火)	14(火)	22(水)	13(月)	22(水)	23(木)
5月	21(木)	19(火)	20(水)	25(月)	20(水)	21(木)
6月	24(水)	16(火)	17(水)	15(月)	23(火)	25(木)
7月1回	7(火) 郵便入札のみ	—	15(水)	6(月)	3(金) 郵便入札のみ	—
2回	27(月)	14(火)	30(木)	27(月)	23(木)	—
8月1回 (2回)	20(木)	4(火) 郵便入札のみ 18(火)	19(水)	18(火)	25(火)	—
9月1回	4(金) 郵便入札のみ	4(金) 郵便入札のみ	16(水)	10(木)	4(金) 郵便入札のみ	17(木)
2回	28(月)	25(金)	30(水)	30(水)	24(木)	
10月	22(木)	20(火)	21(水)	19(月)	23(金)	22(木)
11月	20(金)	17(火)	18(水)	17(火)	24(火)	19(木)
12月	14(月)	15(火)	16(水)	22(火)	14(月) (札幌開催)	17(木)
1月	21(木)	19(火)	20(水)	19(火)	21(木) (札幌開催)	未定
2月	18(木)	16(火)	17(水)	15(月)	18(木) (札幌開催)	未定
3月	15(月)	16(火)	10(水)	15(月)	12(金)	未定

○令和7、8年度（素材の部）（単位：m³）

地区別	署別	3月期(委託)		4月期 入札 予定
		素材委託 販売結果	入札日	
札幌	石狩	870	12日 (木)	21日 (火)
	空知			
	胆振東部	3,165		
	日高北部			
旭川	日高南部	3,028	17日 (火)	14日 (火)
	北空知	1,211		
	留萌北部			
	留萌南部			
	上川北部	1,256		
	宗谷			
	上川中部	1,050		
上川南部	3,583			
北見	網走西部	4,751	11日 (水)	22日 (水)
	西紋別	2,345		
	網走中部	3,137		
	網走南部	3,714		
帯広	根釧西部	965	10日 (火)	13日 (月)
	根釧東部	433		
	十勝東部			
	十勝西部	981		
函館	東大雪	6,149	13日 (金)	22日 (水)
	後志			
	檜山	1,097		
	渡島			
計		37,735		

※上記詳細については、北海道森林管理局ホームページ「国有林野産物の公売公告及び結果（立木の部・素材の部）」をご覧ください。

（立木の部）アドレス：https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_ryuboku/index2025.html

（素材の部）アドレス：https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_soza/2025.html

※森林管理署等が執行する林産物の売払契約の一般競争入札に参加するためには、資格を得ていただく必要があります。

北海道森林管理局ホームページ、「競争参加有資格者（林産物の売払）に係る諸手続」をご覧ください。

アドレス：<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hanbai/apply/publicsale/koubai/sankasikaku/index.html>